

第 120 回定時株主総会の質疑応答要旨

2023 年 6 月 28 日（水）に第 120 回定時株主総会を開催し、5 名の株主様との以下に関する質疑応答がありましたので、その要旨を下記のとおりお知らせいたします。

記

Q: 株価に関して

A: 現在株価が低迷している状況は十分に認識しており、現在の株価に対して経営陣は決して満足しておりません。株価は株主の皆様からの経営者に対する評価であり、株価上昇をはかるためにも中期経営計画を着実に実行し当社の企業価値を高め、皆様にご評価いただけるアウトプットを出すことが重要と考えております。また、当社はこれまで一般向け PR が十分でないことから、今後は一般向けの PR 活動も積極的に検討したい考えです。

Q: 監査法務部に関して

A: 監査室を部として独立させていない理由ですが、事業整理・会社規模縮小に伴い、一般管理部門をコンパクトにすることで柔軟な対応を可能とし、ガバナンスを強化することを目的としております。その一環で監査法務部を社長直下に置き、部内で監査室・法務室を分けてそれぞれ独立させております。

Q: 三井海洋開発株式会社に関して

A: 三井海洋開発株式会社に関しては、当社から社外取締役を派遣しております。なお、6 月開催の三井海洋開発株式会社の臨時株主総会に関してですが、先般発表された第三者割当増資に伴う取締役の選任が議題となっております。

Q: 成長戦略に関して

A: 成長戦略のポイントですが、船用エンジン・港湾クレーンの 2 つの軸となる事業を、グリーンとデジタルの切り口で付加価値をつけさらに大きくすることが当社の成長戦略の骨子です。今後は皆様にさらにご理解いただけるよう、PR 活動を含めしっかり行っていきます。

Q: 資機材の価格上昇に関して

A: 資機材の価格上昇はもはや業界共通の課題と捉えており、市況を見つつ価格転嫁を進めたいと考えています。同時に、当社としてもコストダウンを進め、資機材価格高騰を理由に収益を悪化させることの無いよう努めていきます。

以 上